

# 水道管の凍結・破裂を防ぐために

これからの時節、水道設備の凍結や破裂が発生しやすくなります。日常生活での支障だけでなく、修理費用が大きな負担になりますので、気象情報には十分ご注意ください。

## このようなときはご注意ください！

外気温がマイナス4℃以下になるとき  
家を長期間留守にするとき  
(真冬が続く見込みの場合)

※凍結に備えて、あらかじめ水の汲み置きをお勧めします。

## 凍結を防ぐ

屋外等のむき出しの水道管は保温が有効です。

- ・保温材や凍結防止ヒーターを取り付ける。
- ・特に、風当たりの強い所、日の当たらない所に注意する。

水抜栓を設置してあるお宅では、水道管の水を抜く。

- ・元栓の閉栓だけでは管内に水が残るので、水抜栓の設置をお勧めします。
- ・水抜栓の設置や湯沸かし器、ボイラーなどの水抜き方法は、指定給水装置工事店へお問い合わせください。

## 凍結してしまったら

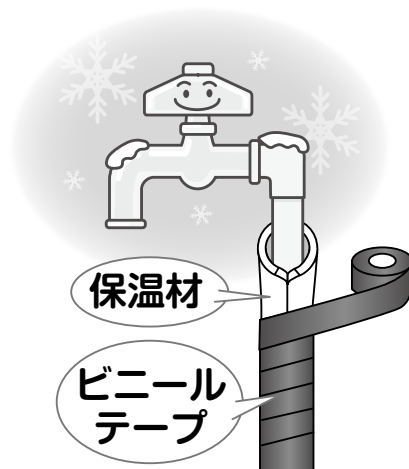
自然に溶けるのを待つか、タオルなどをかぶせ、ぬるま湯をゆっくりかけて解凍する。

※熱湯では水道管が破損する恐れがあります。

## 保温材の取り付け方

蛇口や水道管に保温材や古い毛布などを巻きつけ、その上からビニールテープなどを巻いてください。

また、保温材等が濡れないようにしてください。



## 破裂の被害を防ぐために

留守のときは、止水栓（メーター近くの元栓）を閉め、蛇口から水圧を抜いてください。

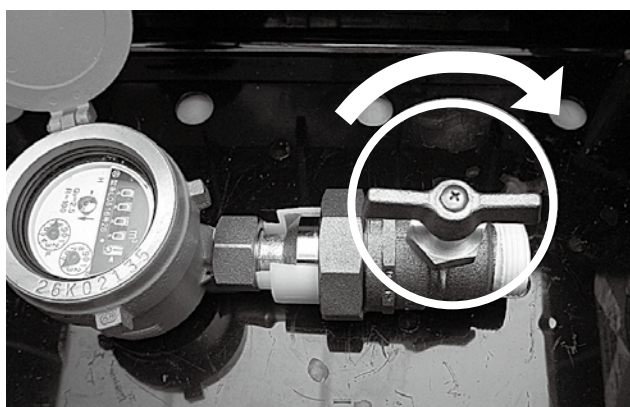
万一破裂した場合でも水の飛散被害を防ぐことができます。

漏水を発見したときは、止水栓を閉め、指定給水装置工事店へ修理を依頼してください。

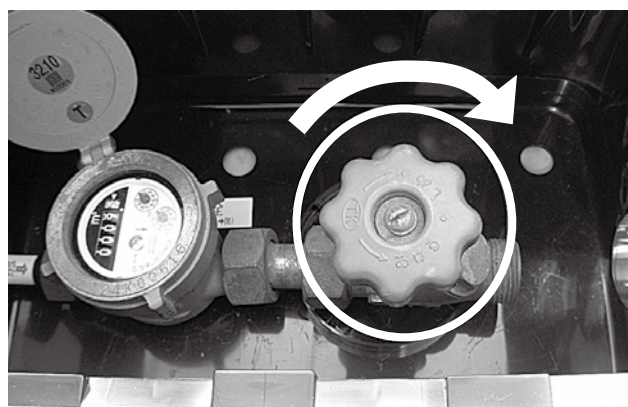
## 止水栓の閉め方

現行型の止水栓（蝶ハンドル）、バルブ型止水栓（水抜栓タイプ）ともに時計回りに閉まるところまで回します。

※普段から止水栓の場所や状況等の確認をお願いします。



閉まるところまで、90度回すタイプと、数回回すタイプがあります。



山間部などに多い、水抜栓タイプ。

閉まるところまで回した後、水が抜けるまで様子を見てください。

建設部上下水道課 水道維持管理係 ☎ 5 5 - 3 1 1 4